

■Genius English Readings Revised シラバス参考例

外国語科「リーディング」シラバス	単位数	4単位	担当者	○ ○ ○ ○
	学科・学年・学級		○ ○ ○科・第3学年・○～○組	

1. 学習の到達目標等

(1) 学習到達目標

英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。

具体的には、

- ア. まとまりのある文章を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめたりすることができるようにします。
- イ. まとまりのある文章を読んで、書き手の意向などを理解し、それについて自分の考えなどをまとめたり、伝えたりすることができるようにします。
- ウ. 物語文などを読んで、その感想などを話したり、書いたりすることができるようにします。
- エ. 文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読することができるようにします。

(2) 使用教科書・副教材等

Genius English Readings Revised (大修館書店)・教科書準拠ワークブック

2. 評価の観点及び内容

みなさんの学習状況は、以下の「関心・意欲・態度」、「表現の能力」、「理解の能力」、「知識・理解」の4つの観点から評価します。

観 点	内 容
① 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力しているか。
② 表 現 の 能 力	日常的な話題について、情報や考えなど相手に伝えようとする事柄を、英語で話したり書いたりして、適切に表現することができるか。
③ 理 解 の 能 力	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする事柄を理解することができるか。
④ 知 識 ・ 理 解	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。

3. 評価方法

上記2の4つの観点について、以下のa～eの方法を適宜組み合わせることで評価します。

a	ペアワークやグループワークへの参加状況や、教師の問いに対する応答
b	ワークシートへの記述内容や、ワークブック等の課題への取り組み状況
c	本文を読んだ感想や、与えられたテーマに関するスピーチやライティング等の発表活動
d	小テスト（単語テスト、レッスンテスト、サマリー・ライティングテスト等）
e	定期考査（1, 2学期中間考査, 1, 2学期期末考査, 学年末考査）

4. 学習計画および評価方法等（「評価の観点」①～④は上記2, 「評価方法」のa～e.は上記3に対応）

学期	教科書レッスン (学習内容)	月	題材・言語学習	評価 の 観 点	評 価 方 法	学習のねらい・学習活動 ※ [R] : Reading, [L] : Listening [W] : Writing, [S] : Speaking	考 査 範 囲
第 1 学 期	Unit 1 Lesson 1 A Baby's Face Is Disarming ジャンル： 説明文 トピック： 心理学	4	[題材] 赤ん坊の顔はなぜ無邪気で、まわりの人を引きつけるのか。その理由を解き明かしていきます。 [言語学習] ・ Keys to Reading 文中における that の役割と意味。 ・ Vocabulary 接尾辞 -ish と -ness	①	a	赤ん坊の顔はなぜ無邪気で、まわりの人を引きつけるのかということについて関心を持ち、教師の問いに対して積極的に自分の考えを述べようとする。 [L], [S]	第 1 学 期 中 間 考 査
				②	c	人間に限らず、動物の顔が子どもっぽく見える理由を英語で説明できる。 [W], [S]	
				③	b d e	赤ん坊の顔に特徴的な「鍵刺激 (Key Stimuli)」とは何かを読み取り、また、それらを活用した例について理解する。 [R]	
				④	b d e	・ that の3つの用法 (代名詞, 接続詞, 関係代名詞) に注意しながら、文中での働きを見きわめられる。 ・ 接尾辞 -ish と -ness について理解し、また、それらを正しく使うことができる。 [R], [W]	
	Lesson 2 Lessons from the Wolf ジャンル： 論説文 トピック： 生物, 環境	=	[題材] アメリカのイエローストーン国立公園における生態系の回復のために果たしたと考えられるオオカミの役割について理解します。 [言語学習] ・ Keys to Reading 文章の構成：①「列挙 (listing)」 ・ Vocabulary ①接尾辞 -ance と -ence ②接頭辞 re-	①	a	「自然を守る」とはどのような意味なのかを考え、教師の問いに対して積極的に自分の考えを述べようとする。 [L], [S]	
				②	c	イエローストーン国立公園に若い樹木が再生している原因として考えられていることを、本文に基づいてまとめることができる。 [W], [S]	
				③	b d e	イエローストーン国立公園にオオカミが導入された背景や意図、そしてその効果について読み取る。 [R]	
				④	b d e	・「列挙 (listing)」という手法に着目して、文章の論旨の展開を理解する。 ・接尾辞 -ance と -ence, 及び接頭辞 re-について理解し、また、それらを正しく使うことができる。 [R], [W]	
	Active Reading 1 背景知識の活用 * 雑誌記事を読む	5	[ねらい] 背景知識を活用することで、効率的な読みが促進されることを学習します。	①	a	「背景知識を活用する」とはどのようなことなのか考え、教師の問いに対して積極的に答えようとする。 [L], [S]	
				②	c	Exercises の問いに適切な内容と量で答えることができる。 [W], [S]	
				③	b d e	背景的な知識を活用しながら、すばやく適切に与えられた文章を読み取ることができる。 [R]	

			④	b d e	Exercises の問いに答えたり、本文を読み取る際に求められる背景知識は具体的に何かを説明することができる。 [R], [S]	第 1 学期期末考査
Lesson 3 Let's Be Proud ジャンル： 説明文 トピック： ボランティア・コンピュータ	6	[題材] 障害をもつ人びとや高齢者の、社会参加や就職支援を行なう関西の NPO 団体「プロップ・ステーション」を運営する竹中ナミさんの活動や思いなどについて理解します。 [言語学習] ・ Keys to Reading 文中における and の役割と意味。 ・ Vocabulary ①接尾辞 -er と -ee ②複合語 (1)	①	a	ボランティア活動についてどのように思うかや、自分自身の過去の経験について、教師の問いに対して積極的に述べようとする。 [L], [S]	
			②	c	本文を読んで印象に残ったことを、その理由も含めて英語で書いて発表できる。 [W], [S]	
			③	b d e	「プロップ・ステーション」を立ち上げるきっかけやそのねらい、そして竹中ナミさんが伝えたいメッセージなどを読み取ることができる。 [R]	
			④	b d e	・ and が何と何を結び付けているかを把握して、正確に読解ができる。 ・ 接尾辞 -er と -ee, 及び語句の入れ替え等による複合語について理解し、また、それらを正しく使うことができる。 [R], [W]	
Option: For Further Study 1 John F. Kennedy's Inaugural Address	6	[題材] アメリカ第 3 5 代大統領 John F. Kennedy の大統領就任演説を読み、また、耳で聞いて彼のメッセージを理解します。特に、Lesson 3, p.35, ll.3-4 にもある、 “(And so, my fellow Americans:) ask not what your country can do for you – ask what you can do for your country.” というメッセージと Lesson 3 との関連にも注意します。	①	a	John F. Kennedy について知っていることや、彼の残した有名な言葉などについて、教師の問いに対して積極的に述べようとする。 [L], [S]	
			②	c	演説の内容で気に入った箇所や、逆に疑問の残るような箇所があれば、その理由も含めてそれらを英語、あるいは日本語で書いて発表できる。 [W], [S]	
			③	b d e	演説の要旨やメッセージを読み取り、かつ、聴いて理解を深める。また、演説に込めた Kennedy の思いを味わう。 [R], [L]	
			④	b d e	Kennedy のこの演説が行われたときの時代背景を調べたり、アメリカの歴代大統領の有名な演説について調べたりして、理解を深めることができる。 [R], [W]	
Option: Supplementary Reading I All Americans Slurp ジャンル： エッセイ トピック： 異文化・食事	7	[題材] ある文化の中では普通のことだが別の文化では奇妙であったり、無作法であったりすることがあることを読んで理解します。また、本文中のそれらの具体例から、その時の作者の気持ちを読み取ります。	①	a	ナイフとフォークを使って食べるのと、箸を使って食べるのと、どちらが好きかなど、「食」に関する教師の問いに対して積極的に答え、述べようとする。 [L], [S]	
			②	c	異文化の中で暮らすことの大変さや、逆に、おもしろさについて ALT や JTE, あるいはそのような経験のある生徒の皆さんから発表してもらい、なぜそのようなことが起こるのか、そのときどのように対処したらよいかなどについてディスカッションをすることができる。 [S], [L]	

			③	b d e	中国からアメリカに移民した作家が、異なる生活習慣の中で体験したユーモラスな出来事を読み取ることができる。[R]	
			④	b d e	異文化体験に関するエッセイや物語などを、今まで英語で読んできた題材（教科書も含む）からひとつ選び出し、要約して自分の感想も加えて発表することができる。[R]、[W]、[S]	
<p>【課題・提出物等】</p> <p>●課題</p> <p>① 事前に配布されるワークシートを使って、該当箇所の予習をしておきます。</p> <p>② 授業で学習した後、ワークブック中の該当箇所の問題を解き、誤りについては訂正をしておきます。</p> <p>●提出物</p> <p>① Lesson 1 から Supplementary Reading I までのワークシートを、各レッスンの終了時にまとめて提出します。</p> <p>② ワークブックの Lesson 1 から Lesson 3 までの問題をすべて解答し、期末考査終了後に提出します。</p>						
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>●評価対象</p> <p>授業中のペアワークやグループワーク及び発表などの言語活動への取り組みとその内容、ワークシートの記述内容やワークブック等の課題、Lesson 1 から Supplementary Reading I のレッスンテスト、サマリー・ライティングテスト、第1学期中間考査及び期末考査</p> <p>●評価割合</p> <p>学期全体の評価割合は、概ね以下のようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動への取り組みとその内容 — 20% ○ ワークシートの記述内容やワークブック等の課題 — 10% ○ Lesson 1 ～ Supplementary Reading I のレッスンテスト、サマリー・ライティングテストの成績 — 20% ○ 中間考査及び期末考査の成績 — 50% 						
<p>Unit 2</p> <p>Lesson 4</p> <p>The New Science of Mind and Body</p> <p>ジャンル： 説明文</p> <p>トピック： 健康・医療</p>	9	<p>【題材】</p> <p>「病（やまい）は気から」という諺がありますが、心（精神）の状態と体（肉体）の状態との間にはどのような相関関係があるのかを、最新の科学的な知見も交えて考察します。</p> <p>【言語学習】</p> <p>・ Keys to Reading 省略を補って正確に文意を読み取る練習をします。</p> <p>・ Vocabulary</p> <p>①接尾辞 -less と -ful</p> <p>②接尾辞 -or と -ist</p>	①	a	教科書 p.46 の下の英語の問いに答える。さらに、自分はストレスを感じやすいタイプかそうではないか、また、自分なりのストレス発散方法についてなど、教師の問いに対して積極的に述べようとする。[L]、[S]	第2学
			②	c	「病（やまい）は気から」ということばを聞いたことがあるか、その意味は何か、また、実際にそのような経験をしたことがあるか、あるいは、そのような話を聞いたことがあるかなどを、英語で書いて発表できる。[W]、[S]	
			③	b d e	精神的な状態が肉体の健康面に影響を及ぼすらしいということが、最近の科学的な調査研究によって解明されつつあるということを読み取る。[R]	
			④	b d e	・省略されている語、句、節などを把握して、正確に読解ができる。 ・接尾辞-less と -ful、及び、-or と -ist について理解し、また、それらを正しく使うことができる。[R]、[W]	
Active Reading 2		[ねらい]	①	a	「パラグラフ・リーディング」とはど	

第 2 学 期	パラグラフ・リーディング ＊ 新聞記事を読む	パラグラフの構成を理解することで、効率的な読みが促進されることを学習します。		ういうことなのか考え、教師の問いに対して積極的に答えようとする。 [L], [S]	期 中 間 考 査	
			②	c		Exercises の問いに適切な内容と量で答えることができる。 [W], [S]
			③	b d e		英語のパラグラフの構成に関する知識を活用しながら (具体的には、教科書 p.56 の Tips を活用しながら), すばやく適切に与えられた文章を読み取ることができる。 [R]
			④	b d e		パラグラフ・リーディングが役に立つ具体的な例となる文章をひとつ見つけて、仲間に紹介し、説明することができる。[R], [S]
	Lesson 5 Greening the Sahel ジャンル : ドキュメンタリー トピック : ボランテニア・地球	[題材] 砂漠化するアフリカの大地に少しでも歯止めをかけ、緑を増やす取り組みを続ける高橋一馬さんのこれまでの人生や活動を読んで理解し、彼の思いや夢、そして読者、特に若者に対するメッセージを読み取ります。 [言語学習] ・ Keys to Reading 文章の構成 : ② 「連続性 (sequence)」 ・ Vocabulary ①接尾辞 -ify と -cation ②接尾辞 -ant	10	①	a	教科書 p.58 の地図や写真を見ながら、拡大するアフリカの砂漠化現象に歯止めをかけるためにはどうしたらよいかについて、教師の問いに対して積極的に述べようとする。 [L], [S]
				②	c	高橋一馬さんの生き方について、最も強く感じたことを英語で書いて、発表することができる。 [W], [S]
				③	b d e	決して順風満帆とは言えない人生の中で、17歳のときに感じて下した決断を心に秘めながら、地道に根気強く実践を重ね、夢の実現へと取り組む高橋さんの生き様と彼の熱い思いを読み取る。 [R]
				④	b d e	・「連続性」を表わすシグナルとなる語句に注目しながら、流れに沿って文章を読み取ることができる。 ・接尾辞-ify と -cation, 及び, -ant について理解し、また、それらを正しく使うことができる。 [R], [W]
	Lesson 6 Do Women Talk Too Much? ジャンル : 論説文 トピック : コミュニケーション・ジェンダー	[題材] 「女性はおしゃべりである」とか「男性より女性の方がよくしゃべる」などと言われますが、果たしてそれは本当なのでしょうか。社会的な見地から分析し、考察した論説文を読んで理解します。 [言語学習] ・ Keys to Reading 文章の構成 : ③ 「比較・対照 (comparison / contrast)」 ・ Vocabulary ①接尾辞 -ive, -sive, -ative		①	a	女性と男性のどちらがおしゃべりと思うかや、教科書 p.68 のそれぞれの写真において、誰が一番しゃべっていると思うかなどについての教師の問いに、積極的に答えようとする。 [L], [S]
				②	c	今までに「沈黙は金」と思われる経験をしたことがあればその経験を、何かを言わなかったことで失敗した経験があればその経験を、それぞれ英語で書いて発表することができる。 [W], [S]
			③	b	「女性の方が男性よりもおしゃべり	

		②複合語 (2)	d e	であるか」という問いに対する答えは Yes でもあり No でもある。要するに、それは場面や状況によるということを、具体的な分析や考察も含めて読み取ることができる。 [R]	第2学期期末考査
			④ b d e	・「比較・対照」を表わすシグナルとなる語句に注目しながら、何と何が比較・対照されているかを把握して、文章を読み取ることができる。 ・次の2点について理解し、また、正しく使うことができる。 ①接尾辞-ive, -sive, -ative ②動詞と目的語の語順を入れ替え、動詞に-ing をつけることにより、1語の複合語(名詞あるいは形容詞)をつくることことができる。 [R], [W]	
Active Reading 3 スキヤニング * 観光ツアーガイドを読む	[ねらい] スキヤニング(scanning: 特定の情報にねらいを絞り、それだけを求めてすばやく読む方法)を活用することで、効率的な読みが促進されることを学習します。	① a	「スキヤニング」とはどのようなのか考え、教師の問いに対して積極的に答えようとする。 [L], [S]		
		② c	Exercises の問いに適切な内容と量で答えることができる。 [W], [S]		
		③ b d e	スキヤニングに関する知識を活用しながら(具体的には、教科書 p.78 の Tips を活用しながら)、すばやく適切に与えられた文章を読み取ることができる。 [R]		
		④ b d e	スキヤニングを用いて答える問いをひとつつけた文章を各自ひとつ用意して、仲間同士交換して、お互いに相手の問いに答えあうことができる。 [R], [S]		
Lesson 7 To End War or Humankind ジャンル： 論説文 トピック： 平和・科学	[題材] 心ならずも原爆の開発に加わった物理学者 Joseph Rotblat が、当時科学者としてどのように考え、どのように行動したのかについて精読して読み取り、鑑賞します。 [言語学習] ・ Keys to Reading 代名詞(it, this that) に注意して精読する。 ・ Vocabulary 動詞を名詞化する接尾辞-sion(-tion), -ment, -y, -t	① a	教科書 p.82 を見ながら、この時計は何を表わしているのか、左側の年号にあるその年の出来事とその時計とはどのような関係にあるのかなどについての教師の問いに、積極的に答えようとする。 [L], [S]		
		② c	本文の最終パラグラフ(引用を含む)を読み、どうすれば戦争を回避できるかについてグループで話し合うことができる。 [W], [S]		
		③ b d e	物理学者 Joseph Rotblat がどのような経緯で原爆の開発に関わるようになったか、また、原爆の広島、長崎への投下後、彼はどのような思いでどのような行動をとったのかを読み取る。 [R]		
		④ b	・当時の歴史的な背景知識を得るため		

			d e	に、図書館の資料やインターネットを利用します。(調べ学習) ・文中の代名詞, 特に it, this, that がそれぞれ何を指すかに注目しながら, 流れに沿って文章を読み取ることができる。 ・動詞を名詞化する接尾辞 -sion(-tion) と -ment, -y, -t について理解し, また, それらを正しく使うことができる。 [R], [W]
Option: For Further Study 2 The Russell-Einstein Manifesto	[題材] Bertrand Russell が, Albert Einstein を中心とする 10 人の科学者とともに, 核兵器の恐ろしさを訴え, その廃絶と廃絶のための会議の開催を呼びかけた manifesto (声明書) を読んで, そのメッセージを理解します。	①	a	・本文の復習, 特に教科書 pp.86-87 の箇所を中心に復習する。 ・Russell や Einstein について知っていることや, 彼らの残した有名な言葉などについて, 教師の問いに対して積極的に述べようとする。 ・声明書の最後のサインに湯川秀樹氏のものもあることに注目し, 湯川氏についての教師の問いに, 積極的に答えようとする。 [R], [L], [S]
		②	c	声明書の内容で印象に残る箇所を, その理由も含めて英語, あるいは日本語で書いて発表できる。 [W], [S]
		③	b d e	声明書の要旨やメッセージを読み取り, かつ, 聴いて理解を深める。また, 声明書に込めた Russell の思いを味わう。 [R], [L]
		④	b d e	次のことなどについて調べて, 理解を深めることができる。 ・この声明書が発表されたときの時代背景 ・発表後の反響 ・湯川秀樹氏が関わるようになった経緯など [R], [W]
Option: Supplementary Reading II The Model Millionaire ジャンル: 英国文学 トピック: ミステリー	[題材] 19 世紀末のロンドンを舞台とする, オスカー・ワイルド原作の物語を読みます。奇想天外な物語の展開を楽しみましょう	①	a	作者オスカー・ワイルドや, 彼の書く作品, 特にミステリーものについての教師の説明に耳を傾け, 質問に対しては積極的に答えようとする。 [L], [S]
		②	c	読み終わった後の感想や, 作品のどのような点が魅力的か, あるいは, どのような点が印象に残ったかについて小グループを作り, ディスカッションをすることができる。 [S], [L]

			③	b d e	話の筋を追って、物語の展開を正しく把握できる。特に最後のどんでん返しを読んで、味わうことができる。また、主人公 Hughie の、それぞれの場面における心情を読み取ることができる。 [R]
			④	b d e	オスカー・ワイルドの他の作品や、ミステリー作品一般について、今まで英語で読んできた題材（教科書も含む）からひとつ選び出し、要約して自分の感想も加えて発表することができる。 [R], [W], [S]
Unit 3 Lesson 8 Perceptions and Illusions ジャンル： 説明文 トピック： 知覚・心理	12	[題材] 視覚や聴覚に関する「錯覚」について、わかりやすい例も含めていくつかの興味引かれる例を読み取ります。そして、それらの「錯覚」が実は私たちの日常生活でも役に立つ形で生きていることを読み取ります。 [言語学習] ・ Keys to Reading 文章の構成：④「因果関係 (cause - effect)」 ・ Vocabulary 接尾辞 -able, 及び、否定接頭辞 un-	①	a	教科書 p.104 の図版の不思議さについてできるだけ多く英語で述べることができる。教師からの問いにも適切に答えられる。 [L], [S]
			②	c	「錯覚」を起こす図 (教科書 p.111) を見て、具体的にどのような「錯覚」であるか英語で説明することができる。 [S]
			③	b d e	視覚や聴覚に関する「錯覚」について分析や研究を進めることで、私たち人間の情報処理に関する基礎的なメカニズムの解明と、情報伝達に関わる要素の限定へとつながる可能性のあることを読み取る。 [R]
			④	b d e	・「因果関係」を表わすシグナルとなる語句に注目、かつ、文章の論理関係を丁寧に追いながら、cause and effect の関係を把握して、文章を読み取ることができる。 ・次の2点について理解し、また、正しく使うことができる。 ①接尾辞-able ②否定接頭辞 un- [R], [W]
【課題・提出物等】 ●課題 ① 事前に配布されるワークシートを使って、該当箇所の予習をしておきます。 ② 授業で学習した後、ワークブック中の該当箇所の問題を解き、誤りについては訂正をしておきます。 ●提出物 ① Lesson 4 から Lesson 8 までのワークシートを、各レッスンの終了時にまとめて提出します。 ② ワークブックの Lesson 4 から Lesson 8 までの問題をすべて解答し、期末考査終了後に提出します。					

		<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>●評価対象 授業中のペアワークやグループワーク及び発表などの言語活動への取り組みとその内容、ワークシートの記述内容やワークブック等の課題、Lesson 1 から Lesson 8 のレッスンテスト、サマリー・ライティングテスト、第2学期中間考査及び期末考査</p> <p>●評価割合 学期全体の評価割合は、概ね以下のようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動への取り組みとその内容 — 20% ○ ワークシートの記述内容やワークブック等の課題 — 10% ○ Lesson 1 ~ Lesson 8 のレッスンテスト、サマリー・ライティングテストの成績 — 20% ○ 中間考査及び期末考査の成績 — 50% 			
第 3 学 期	<p>Active Reading 4 推測 * 短い手紙を読む</p>	1	<p>【ねらい】 行間の読み取りなどに関わる「推測 (inference)」の練習をすることで、効率的、かつ、深い読みが促進され、作品の鑑賞へとつながることを学習します。</p>	<p>① a 「推測」とはどのようなことなのか考え、教師の問いに対して積極的に答えようとする。 [L], [S]</p> <p>② c Exercises の問いに適切な内容と量で答えることができる。 [W], [S]</p> <p>③ b d e 「推測」に関する知識を活用しながら (具体的には、教科書 p.114 の Tips を活用しながら)、すばやく適切に与えられた文章を読み取ることができる。 [R]</p> <p>④ b d e 「推測」を用いて答える問いをひとつつけた文章を各自ひとつ用意して、仲間同士交換して、お互いに相手の問いに答えあうことができる。 [R], [S]</p>	学 年 末 考 査
	<p>Lesson 9 Morals, Apes, and Us ジャンル： 論説文 トピック： 動物・</p>		<p>【題材】 Eduard Stambach の実験について、その経緯や内容を精読して読み取ります。また、3人の研究者 (Stambach, Hauser, Masserman) の実験の目的と結果について、スキミングとスキニングによって概要や要点を読み取ります [言語学習]</p> <p>・ Keys to Reading 句読法 (コロン (:), セミコロン (;), ダッシュ (-)) の用法</p> <p>・ Vocabulary ① 複合語 (3) ② [[形容詞 / 数詞+名詞] -ed], 及び, [名詞 -ed] (複合語 (4))</p>	<p>① a 人間と動物はどのような点において同じであり、どのような点において異なるのかという教師の問いに対して、積極的に答えることができる。 [L], [S]</p> <p>② c 本文に紹介されている3つの実験について、次の観点に基づいて日本語でまとめ、発表することができる。 [W], [S]</p> <p>③ b d e 動物、特に類人猿は、人間と同じように感情を持ち、他者に共感を感じたり、協力したりすることができるのか、また、「道徳」というのは人間が独自に有するものであるのか、などについて読み取る。 [R]</p> <p>④ b d e ・「句読法 (コロン (:), セミコロン (;), ダッシュ (-))」について、それぞれの役割と意味を理解し、よりスムーズに文章を読み取ることができる。 ・次の2点について理解し、また、正</p>	

					<p>しく使うことができる。</p> <p>①句の表現からいくつかの語を省き、順序を入れ替え、接尾辞-erを付けて、「～する人」という意味の複合語をつくる。</p> <p>② [[形容詞 / 数詞+名詞] -ed], 及び, [名詞 -ed] で「[形容詞 / 数詞+名詞] あるいは [名詞] をもっている」という意味の形容詞の複合語になる。</p>
<p>Lesson 10</p> <p>Reading Pictures</p> <p>ジャンル： 論説文</p> <p>トピック： 美術・歴史</p>	<p>＝</p> <p>2</p>	<p>[題材]</p> <p>Botticelli の作品, 特に <i>Primavera</i> (『春』) を中心として, 絵画は何を私たちに語りかけてくるのか, その「読み取り」に関する説明文を精読します。</p> <p>[言語学習]</p> <p>・ Keys to Reading 「分詞」の読み取り</p> <p>・ Vocabulary</p> <p>①接尾辞-ology, 及び, さらにその後ろにつける-cal, -ly</p> <p>②接頭辞-un</p>	①	a	<p>普段絵画をどのように鑑賞しているかという教師の問いに対して, 積極的に答えることができる。</p> <p>[L], [S]</p>
			②	c	<p>教科書 p.138 の 3, a, b. いずれかの絵を一枚選んで, その絵にかかっているものやその絵から受ける印象を英語で書いて発表することができる。</p> <p>[W], [S]</p>
			③	b d e	<p>Botticelli の作品, 特に <i>Primavera</i> (『春』) を中心として他の関連するいくつかの絵画も含め, それらに描かれている人物や背景にどのような意味が込められているのかをひとつひとつ詳細に読み取って解き明かすと同時に, それらに込めた作者 Botticelli のメッセージなどについても読み取る。 [R]</p>
			④	b d e	<p>・文中における分詞の役割と意味 (特に分詞の形容詞的用法と分詞構文) を見きわめながら, 正確に文意を把握することができる。</p> <p>・次の2点について理解し, また, 正しく使うことができる。</p> <p>①接尾辞-ology, 及び, さらにその後ろにつける-cal, -ly</p> <p>②接頭辞-un</p>
<p>Active Reading</p> <p>5</p> <p>大意把握</p> <p>*依頼文を読む</p>		<p>[ねらい]</p> <p>大意把握を行うときのスキミング (skimming) の練習をすることで, 効率的な読みが促進されることを学習します。</p>	①	a	<p>「スキミング」とはどのようなことなのか考え, 教師の問いに対して積極的に答えようとする。 [L], [S]</p>
			②	c	<p>Exercises の問いに適切な内容と量で答えることができる。</p> <p>[W], [S]</p>
			③	b d e	<p>「スキミング」に関する知識を活用しながら (具体的には, 教科書 p.142 の Tips を活用しながら), すばやく適切に与えられた文章を読み取ることができる。 [R]</p>

			④	b d e	「スキミング」を用いて答える問いをひとつつけた文章を各自ひとつ用意して、仲間同士交換して、お互いに相手の問いに答えあうことができる。 [R], [S]								
Option: Supplementary Reading III Norwegian Wood ジャンル: 現代日本文学 トピック: 恋愛	=	3	[題材] 世界中で読まれている村上春樹の作品である『ノルウェイの森』。知名度の高い作品を英語で読んでみましょう。	①	a	作者村上春樹や、彼の書く作品、あるいは恋愛小説についての教師の説明に耳を傾け、質問に対しては積極的に答えようとする。[L], [S]							
				②	c	読み終わった後の感想や、作品のどのような点が魅力的か、あるいは、どのような点が印象に残ったかについて小グループを作り、ディスカッションをすることができる。[S], [L]							
				③	b d e	話の筋を追って、物語の展開を正しく把握できる。また、特に主人公やガールフレンドの、それぞれの場面における心情を読み取って、味わうことができる。[R]							
				④	b d e	村上春樹の他の作品や、恋愛小説一般について、今まで英語で読んできた題材(教科書も含む)や日本語で書かれた原著からひとつ選び出し、要約して自分の感想も加えて発表することができる。[R], [W], [S]							
<p>【課題・提出物等】</p> <p>●課題</p> <p>① 事前に配布されるワークシートを使って、該当箇所の予習をしておきます。</p> <p>② 授業で学習した後、ワークブック中の該当箇所の問題を解き、誤りについては訂正をしておきます。</p> <p>●提出物</p> <p>① Active Reading 4から Supplementary Reading IIIまでのワークシートを、各レッスンの終了時にまとめて提出します。</p> <p>② ワークブックの Lesson 9 から Lesson 10 までの問題をすべて解答し、学年末考査終了後に提出します。</p>													
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>●評価対象</p> <p>授業中のペアワークやグループワーク及び発表などの言語活動への取り組みとその内容、ワークシートの記述内容やワークブック等の課題、Active Reading 4から Supplementary Reading IIIのレッスンテスト、サマリー・ライティングテスト、学年末考査</p> <p>●評価割合</p> <p>学期全体の評価割合は、概ね以下のようになります。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○ 言語活動への取り組みとその内容</td> <td style="text-align: right;">— 20%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○ ワークシートの記述内容やワークブック等の課題</td> <td style="text-align: right;">— 10%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○ Active Reading 4から Supplementary Reading IIIのレッスンテスト、サマリー・ライティングテストの成績</td> <td style="text-align: right;">— 20%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○ 学年末考査の成績</td> <td style="text-align: right;">— 50%</td> </tr> </table>						○ 言語活動への取り組みとその内容	— 20%	○ ワークシートの記述内容やワークブック等の課題	— 10%	○ Active Reading 4から Supplementary Reading IIIのレッスンテスト、サマリー・ライティングテストの成績	— 20%	○ 学年末考査の成績	— 50%
○ 言語活動への取り組みとその内容	— 20%												
○ ワークシートの記述内容やワークブック等の課題	— 10%												
○ Active Reading 4から Supplementary Reading IIIのレッスンテスト、サマリー・ライティングテストの成績	— 20%												
○ 学年末考査の成績	— 50%												
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>①関心・意欲・態度 ②表現の能力 ③理解の能力 ④知識・理解の4つの観点から評価した1学期の成績、2学期の成績及び3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。</p>													

5. 確かな学力を身につけるためのアドバイス

- ・授業でより良い理解を得るためには予習が不可欠です。まず、授業で扱う英文を辞書を使わずに最後まで読んでみてください。最初はだまかに内容を理解することから始めます。意味のわからない単語は印をつけておきましょう。
- ・次に印をつけた単語の意味を辞書で調べます。100語からなる英文のうち、1割にあたる10語が未知語だとすると、その英文を理解するのは困難です。英文を理解する上で重要となる単語の意味を調べておくことが必要です。
- ・正確な英文読解のために、構文や文法の理解が必要な場合があります。授業中にも説明しますが、予習の段階で各自理解が不完全と思われるところは調べて学習しておくといでしょう。

6. 授業を受けるにあたって守ってほしい事項

- ・授業で行なうペア活動やグループ活動は大切なコミュニケーションの機会です。誤りを恐れずに積極的に活動に参加してください。
- ・授業中での辞書の使用は自由です。未知の単語があったときに、予習もしていない、辞書も持っていないでは困ります。

7. 担当者からのメッセージ

- ・「習うより慣れろ！」でとにかく数多く読むことが大切です。特に次のことに注意して読みましょう。
- 1.予習のときは自分の実力に応じて数行から数段落、あるいは文章全体を文の頭から（後から前に戻ったりせず）読んでいきましょう。このとき、辞書を使ってはいけません。
 - 2.その後、今度はわからなかった単語を辞書で引き、また、代名詞や抽象名詞の意味するところを考えながら読んでいきましょう。
あとはこの作業を繰り返し、最後まで行ったら、もう一度意味を取りながら声を出し、発音に気をつけながら読みます。「速読→精読→音読」の練習を繰り返すことになるわけです。
このようなことがリーディングのひとつの学習方法ですが、それを支えるための語彙力の養成、文法力の向上に努めてください。また、普段から新聞を含め、何らかの読書を数多くして、英文を読む際の「背景知識」を蓄え、また、考える習慣をつけておくことも重要です。もちろん、日頃の授業に真剣に取り組むこと。これが基本です。
- ・リーディングの授業では、いわゆる英文訳読も必要に応じて行ないますが、また、読んで理解した内容をペアやグループで伝え合ったり、話し合ったりしてもらうことを数多く行ないます。間違いを恐れずに、積極的に授業に参加してください。
 - ・わからないことがあれば何でも聞いてください。ただし、自分で調べればわかるようなものは、極力自分で調べてください。